

全国初のシステムで新型コロナ対策

(2020年5月19日 17:00)

再開を機に公共施設では、新しい仕組みやルールを導入する動きが広がっています。北九州市では、全国初のある取り組みが始まりました。全国で初めて導入されたのは、交通系ICカードを活用した来館者の登録システムです。ICカードを専用の機械にタッチするとそれぞれのカードに固有の来館者番号が発行されます。この来館者番号と名前、連絡先をカードに記入して登録。施設で感染者が確認された場合、登録データを基に電話で連絡する仕組みで、当面、市内6カ所の公共施設で運用されます。この仕組みを開発した北九州市のベンチャー企業は…

●レセプター 平田教光 社長の話

「市民がいろんな施設を回る時に気軽にタッチするだけで安全を担保できる保険みたいな形で運用できればいいと思っている」

スマートフォンを活用した同様のシステムに比べ、交通系ICカードは、高齢者の所有率が高く、より多くの市民にサービスが提供できるということです。

●来館者の話

「(登録は) すごく簡単でした。すぐ連絡してもらえるので安心だと思います」

「個人のプライバシーもあるがそれ以上に感染した人を探すことを目的に使う分には十分許容できる」

●北九州市立美術館 鐘ヶ江祐二 普及課長の話

「前向きに新型コロナ感染者拡大防止になるということで皆さん考えられています。皆さま安心してこの美術館に来られて鑑賞できる環境を整えたいと思います」

前後のニュース

- ▶ [巡査部長 “盗撮”で書類送検 画像1000枚以上 警察公表せず](#) 5月19日 17:00
- ▶ [大丸福岡天神店 全館で営業再開 販売方法や店舗運営に変化](#) 5月19日 17:00
- ▶ [福岡県立図書館 感染対策して再開](#) 5月19日 17:00
- ▶ [マスク必須の生活 息苦しくなったら“無理は禁物”](#) 5月19日 17:00
- ▶ [全国初のシステムで新型コロナ対策](#) 5月19日 17:00

[▶ ページの先頭へ戻る](#)

ニュース



◉ [テレQオススメ番組](#)

◉ [番組一覧](#)

